



RIテーマ ROTARY : MAKING A DIFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

クラブテーマ 『 それでこそロータリー！ 』

2017-2018

第6回例会

会報 No. 1004 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：中島秀樹 副会長：伴 和信 幹事：柳瀬秀昭 会報・雑誌委員長：金子和久

平成 29 年 8 月 9 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：社会奉仕

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」唱和：中野 亘 さん

『ロータリーの友』(8月号) 読みどころ紹介 馬淵 紀充 さん

ゲスト 愛知県環境部自然環境課 課長補佐 小久保 誠一 氏

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	7月26日修正出席率	ビジター
	43名	42名	2名	12名	71.43%	90.48%	2名

会長挨拶

中島 秀樹 会長

東日本大震災による福島第1原子力発電所の事故以来、炭酸ガス排出量の削減目標も撤回され、嵩上げ工事の為山を切り開き、海岸に巨大な防波堤が建設され、環境保護の機運が一気に萎んできたような気がします。

日本には美しい四季の変化があり、それを守る事の大切さを感じています。

今日は2010年名古屋で開かれた生物多様性条約締約国会議(COP10)を受けて愛知県が取り組んでいる『生物多様性の保全について』というお話をいただきます。当クラブでもCOP10に合わせ「子供たちが学ぶ自然と人の課外授業」という事業を行い、子供達に豊橋の自然の豊かさを学んでもらいました。

今日はじっくりと勉強させていただきたいと思います。

本日のプログラム

愛知県環境部自然環境課 課長補佐
小久保 誠一 氏
「生物多様性の保全について」

COP10 の歴史的な成果

2010(平成22)年10月に「いのちの共生を未来に」をテーマに生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知・名古屋で開催され、歴史的な成果を得ることが出来ました。そのひとつが、今後10年間に国際社会が生物多様性の保全と持続可能な利用を進めていくための世界目標である「戦略計画2011~2020(愛知目標)」が採択されたことです。



生態系ネットワーク

土地利用の転換や開発などによって分断され、孤立した自然を保全・再生してつなげ、生態系を回

復する取組です。生態系ネットワークの形成は、県民や事業者、NPO、行政といった地域の様々な主体が、それぞれの持つ土地や労力、費用などを提供しあい、コラボレーションすることによって進めます。

知多半島生態系ネットワーク協議会

「ごんぎつねと住める知多半島を創ろう」

知多半島地域では、平成22年に「知多半島生態系ネットワーク協議会」を設置し、大学、企業、NPO、市町が協力して「ごんぎつねと住める知多半島を創ろう」をテーマに、生態系ネットワークの形成に向けた事業を推進しています。そのひとつとして、東海市・知多市の海沿いに立地する工業地帯では、幅100m、延長10kmにおよぶグリーンベルトや周辺地域において、11社が協力して生態系ネットワークの形成を図る取組が行われています。

3分間スピーチ

齊藤 伸明 さん

一般的な動物病院は毎年増えていますが、公務員としての獣医師が足りない、そのために今回獣医学部を増やすという事です。昭和30年代の高度成長期にかけ国民が裕福になり、虫歯が急激に増えたため、1960年には7校の歯学部が1980年には29校出来ました。1990年代には過剰になるとの試算が出たため、減らそうとしましたが、現在も29校のままです。未だ歯科医師が過剰の為、ここ10年くらいは国家試験受験者3,000名程度のうち合格者は2,000名程度になっています。不合格者への救済策は何もないので、きちんと計画を立てて学校を増設するなどの対応をしていただきたいと思います。

